



《写真 1》

雲に隠れた、谷川岳山頂。

(西黒尾根の森林限界を越えた場所より。)

でも、山頂以外はほんとうに青空だった。

下から吹き上げてくる風は強いけど、気持ちいい。

《写真 2》

山頂付近に近づいた途端、一面ガス、ガス、ガス。

真っ白な山頂でした...

(ガスに見え隠れする遠くの山だって、迫力あるもんねー。)

でも山頂付近で1時間近くねばったら、晴れてきた〜!!

《写真 3》

谷川山塊。(山頂より、西側を眺める。万太郎山など)

ちょっとだけ晴れだした、不思議な空の色。

今度はあちらを狙いませう!! と思うと同時に、

この穏やかな山並みを見ながら、昔がよぎった...

~~*~*~*~*~*~*~*

6月(と9月)は、天気のいいときに、山に行くしかない!!

というわけで、事前に計画だけは立てておき、

出発日を保留にしていたんだけど、

梅雨入りしたはずなのに、なぜだか晴れそうな週末…。
こりゃ行くしかないでしょう!! と決めたのが前日なわけで…。

はい、たにがわ～!! (6/14(土))

谷川岳は、11 年前、山の会に入部して初めて登った山。
雲の上の世界を知った、おれにとっては特別な山。
(今回は 11 年ぶりにトライ。)

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_**

谷川岳の入口といえば、やっぱり土合駅。
降り立った地下ホームはひんやり寒く、
ここから地上の改札まで、486 段の階段が待ち受けている…。

(土合駅をレポートした、おもしろ HP を発見。)

<http://www.geocities.jp/tsubasa131/travel13.htm>

※ちなみに、土合駅は無人駅でした～。むふふ、らっきー♪

長丁場の西黒尾根。登山口で通りすがりのおっちゃんが、
「魔の西黒尾根が始まる…」とつぶやいていた。
(⇒岩壁で有名な谷川は、稜線までのあらゆるルートが
急斜面なのです…。)

まあとりあえず、天気の良いうちに登り終えたいよな、
と意気込んで登り始めてみると…

西黒尾根。実は、かなり面白かった!!

森林限界を越えると、360度見渡せる山々と高山植物。
さらに山頂までは、岩場あり、断続的な鎖場あり、
ガレ場(大きささまざまな岩のかげら地帯)あり、雪渓あり…。

あまりに気持ちのいい空と、登りがいのあるルートに、
すたこらさっさと歩いてしまい、登山口から2時間5分で
山頂に到着!! (標準コースタイムは4時間。どうした自分...!?)
(でも、もちろんこれは、荷物が軽かったからだけだね。)

1年生のとき、よくここを登ってこれたものだなあ、と思う。
でもあのときは夢中で、振り返れば楽しかった思い出ばかり。
(ヒルに血を吸われたこと意外は…。)

ちなみに、当時の感想文を読んでもと、

「初めは足元しか見ていなかったけど、ふと気がつけば、
麓を見下ろしている自分に気づき、そこは一面が大自然。
なぜだか笑いがこみ上げてくる。
……フッフッフ、ここが自分のいたかった場所さ!!」

なんて書き残しているけど、それは今でも同じ、かな。

*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_*_

そして山頂で、あらためて、
今まで一緒に山に登ってきた人たちのことを考えた。
朝から晩まで、共に旅をし、「生活」してきた山仲間。
楽しかったことも、辛かったことも、たくさんあった。
だからこそ、いろんな経験を共に味わった仲間には
気が許してしまうのか、甘えてしまうのか、

